

目がかすむ場合はどんな眼外傷でも、眼科受診が必要です。眼球打撲では、眼底に穴があいて網膜剥離を起こすことがあります。打撲後は安静の上眼科受診してください。鉄粉異物は角膜にめり込み、徐々に角膜を溶かすように広がります。いつまでも我慢していいないで受診してください。

薬品が眼に入った場合は、その場ですぐに大量の流水でしっかりと目を洗ってください。手のひらですくった水でちやばちやば眼を濡らしたくらいではだめです。ホースやシャワーで水道水を直接目に勢いよくかけるのが良いと思います。特にアルカリの場合は一〇分以上徹底的に洗うことが大切です。受診はその後です。

眼にもこのようなががあり、まずので、危険はなるべく避け、眼を大切にしてください。



新シリーズ 骨通信

1

骨粗鬆症になると、全身のすべての骨が折れやすくなるのですか？

骨にはもろくなりやすい部位があります。脊

椎(背骨)、大腿

骨頸部(足の付け根)、上腕骨近

位部(腕の付け根)、橈骨遠位部

(手首)などです。大腿骨頸部

骨折は、入院して治療しなければならず、それがきっかけで寝

たきりになったりする例も多く

みられます。骨折は骨粗鬆症に

より引き起こされる合併症で

す。合併症である骨折を未然に

防ぐために骨粗鬆症の予防と治

療が大切なのです。



骨粗鬆症で骨折しやすい部位

この頃よく耳にする「骨粗鬆症」患者さんは増えているのですか？

高齢になると

起りやすくなる

る病気ですから、

平均寿命が延び

たことで、骨粗鬆症の患者さん

も増えていきます。推計で数百万

から一千万人ともいわれていま

す。とくに女性に多くみられ、

全体のほぼ八割を占めています。

骨の強さの基準となる骨量

は、一〇歳代後半に急激に増え

て二〇歳代で一生のうちの最大

骨量になります。それは四〇歳

代ごろまで維持されますが、そ

れ以後、女生は男をきつかな

に大きく減少

し、男性も少

しづつ

ですが、

確実に

減って

いきま

す。そ

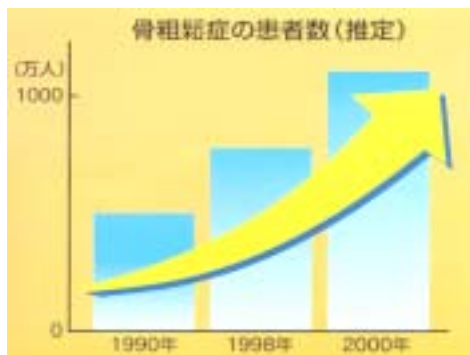
して、

骨量が

低くな

ってもろく骨折しやすくなる病

気を骨粗鬆症といえます。



骨粗鬆症は予防や治療をすれば、よくなるのですか？

年齢に応じた

予防対策があり

ます。加齢とと

もに変化する骨

量に、それぞれの年齢層で適切

に対応すれば予防効果を上げる

ことができます。五〇歳以降で

は骨粗鬆症の早期発見・早期治

療をめざし、六〇歳代以降は転

倒予防など骨折をしないよう気

をつけましょう。四〇歳を過ぎ

たら、年に一度は骨量を測り、

低骨量であったり閉経の影響で

骨量の低下が著しい場合は、医

療機関などにかかり、治療(指

導)を受けることをお奨めしま

す。今は、薬による治療で骨量

を維持から増

加へ向かわせ、

骨折の危険性

を半分から数

分の一に減ら

すことができます。

